

# MOKUIKU の小話

新茶、新米、初鯉 初もの多々にありぬれど、  
我が木育の、初ものこそ恋しけれ。

## 木育的ライフスタイル

私の木育との出会いは、長男の出産祝いとして妻の友人が贈ってくれたKEM工房の木のタマゴでした。色、重さ、におい、肌触りなどが樹種によって異なり、手にとって握るだけで木の温かさが伝わってきました。この素敵な贈り物に、子どもだけではなく親もすっかり魅了されてしまい、これをきっかけに、木育のことをもっと知りたい、木育をもっと広げたいと思うようになりました。その後、平成22年度木育マイスター育成研修に応募し、研修を経て第1期の木育マイスターになることができました。

私の木育マイスターとしてのデビューは、平成23年7月のアリオ札幌の木育教室でした。あとで聞いたところによると、木育マイスターを冠する大型イベントの第1回目だったそうです。



イベントには多数の方にご参加いただき、おかげさまで盛況のうちに終えることができましたが、個人的には、未熟な部分も多かったと反省もしました。木育マイスターは、多くの経験を積みながら成長して行かなければならない、つまり、木育マイスターという資格は、取ることがゴールではなく、スタートなのだと感じたイベントでした。ちなみに、このイベントを手伝ってくれた会社関係者のうち2名が第2期木育マイスターを取得しています。(その後も仲間が増え、会社関係者では計5名の木育マイスターがいます。)



木育マイスター育成研修は、3期目をむかえ、今では道内の様々なフィールドで多くの木育マイスターが活躍していますが、第1期の木育マイスターが認定された当時は、札幌近

郊と北見近郊に木育マイスターが集中しており、他の地域で木育活動を実施するのがなかなか難しい状況でした。そこで、日高や後志管内の幼稚園や保育園、及び関係機関の方々との協議を重ね、主に幼稚園児や保育園児を対象とした木育教室を、日高管内で計4回、後志管内で計2回実施することができました。少々の苦労も、子どもたちの笑顔を見ると、やって良かった、次も頑張ろうというエネルギーに変わります。これも後で聞いた話ですが、管外への木育マイスターの派遣は、私たちが初めてだったそうです。これらの活動が成功できたのは、ひとえに関係者の方々のご尽力によるものです。少し話はそれますが、木育の基本理念の一つに「共感を分かち合える人づくり」というものがあります。木育マイスターひとりの力や知識は小さいものですが、関係者が協働することで、それまで難しかったことも実現することが

できます。この理念を、まさに私たち木育関係者が、率先して実践しているのだと感じています。

初もの続きで恐縮ですが、実は私、道職員以外ではなかなか経験できない、アレも経験したことがあります。とある商業施設のイベントで、いまや木育活動には欠かせないマスコット芽森氏になったのです(この文章を子どもたちが見ていないことを祈ります!)。芽森氏になると、世界が変わります。木育に対する子どもたちの愛情を体全体でびしびし感じることができました。皆さんも機会があれば是非どうぞ!

最後に、私は木育を広げる立場の人間ですが、私自身も木育によってライフスタイルが変わりました。例えば、家族で木製打楽器であるカホンづくりに参加したり、私の親や甥も巻き込んでおがこアートをしたり、道産材の素晴らしさに目覚め、北海道産カラマツ集成材を使っているアイルホームさんで木造住宅を建てたりと、木育が生活を豊かにしてくれることを実感しています。



また、森町の鈴木正樹さん(P26)、釧路町の鈴木憲太郎さん(P26)をはじめ、木育マイスターにならなければ知り合うことができなかった多くの仲間とも出会うことができました。これからも木育マイスターとして、多くの人が「木とふれあい、木に学び、木と生きる」ことができるように、頑張りたいと思います。

「2011 木育フェア in アリオ札幌」での木育教室。 夢の国幼稚園・保育園(浦河町)での木育教室。 「木育ひろば in エキチカ」でカホンづくり。 北海道産カラマツ集成材の柱。

## 中村 裕 (NAKAMURA HIROSHI)

2003年に株式会社ドーコン入社。環境保全部に配属され、道内を中心に植物や動物の調査、環境アセスメント、ピオトープ造成のような環境保全対策などを行っている。2011年に生物多様性推進チームを立ち上げ、木育をはじめとする生物多様性関連の業務も担当している。

北海道の木を賢く使うことが、北海道の自然環境を守ることだということを広く知ってもらうために、木育活動を続けている。

木育マイスター中村さんの活動はP14ほかに掲載



## 冬の小樽で木に様々な形でふれる、学ぶ。

ウイングベイ小樽での木育イベントは昨年に続き2回目。プールの木枠部分をようてい森林組合が製作し、道内を巡回している「きぼうのプール」も、製作後初めて後志管内に帰ってきました。今年も、木工クラフトやコースターづくり、丸太早切り競争、カラムツ丸太のミニログハウス組立実演、木材・木製品の展示販売など、たくさんの体験プログラムや販売ブースが出演されました。

会場でお客様の目を引くのは、やっぱりカプラタワー。吹き抜けを上手に利用して、上から眺めることもできます。タワー完成後には会場の参加者に1つずつ抜いてもらい、崩すイベントも。組み上げる過程を見てみると、カプラは想像力と集中力を高めるのもってこいの教材だと感じます。今回はオープン参加ですが、場所をちょっと工夫して、親子やグループなどで製作してみてもおもしろそうです。

2月3日のマイ箸づくりでは、木育マイスター五十嵐さんによる木育教室も実施されました。

また、お客様からは「はっぴを着ているので、スタッフの見分けがつきやすく話しかけやすい」という声も。結構大切なポイントかもしれませんね。

### ウイングベイ小樽

北海道小樽市築港11番

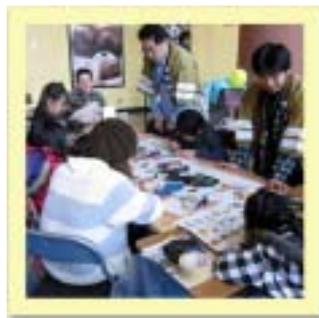


小樽築港駅周辺の再開発（築港ヤード跡地）で建設された大型商業施設。イオン小樽店、グランドパーク小樽、ピパホーム、ニトリ、ナムコ、コナミスポーツクラブ、ワーナーマイカル、喜久屋書店などを中核に150店舗ほどで構成。



木のコースターや、マグネットづくりは毎回人気コーナーです。ただのお絵かきにならないように、ちゃんと樹種を掲示しておくことも大切です。

丸太切り体験コーナーでは、参加者が、親子で声を合わせて「1、2、1、2」とノコギリで丸太を切る作業を体験しました。



木育教室では、箸づくりの材料となるシラカバとその腐朽菌&キノコの間接を学びました。この時期に本物のキノコがほぼそのままの形で登場するのは…さすが「菌育マイスター」。

ステージ上で、来場いただいた子どもたちと一緒に、ようてい森林組合によるカラムツログハウス組立イベントを開催。最後に屋根を載せて完成です。



こんなかわいい「きぼう」も

木にまなぶ2日間！  
きぼうのプールも重機り

- 日時 平成25年2月2日～3日
- 主催 木育ひろばinウイングベイ小樽実行委員会  
(ようてい森林組合、北海道後志総合振興局  
林務課・森林室)
- 木育マイスター 五十嵐幸一

# ウイングベイ 小樽

今回の木育マイスターは、  
**いがらしこういち**  
**五十嵐幸一**さん  
(倶知安風土館)



木と同様にキノコにも興味があるので、木とキノコの自然界での密接な関わりを通じて、現代の人間社会においても見習うべき自然のリサイクルを伝えることのできる、木育、菌育マイスターとして活動して参ります。  
活動範囲：後志管内  
活動実績：「木育ひろばinウイングベイ小樽2013」





## 根室管内初、商業施設の木育イベント

平成 23 年 3 月に開催された標津町双葉保育園での木育教室を、東武サウスヒルズのスタッフが見学したことをきっかけに同店での木育イベント開催を決定。

準備期間の短い中、同店による木製遊具レンタルや周辺施設、木育マスターの協力もあり、無事 GW 中 4 日間の開催となりました。振興局職員も工場に通って作ったらしい木工作用カスタンネットなどの資材も秀逸。

今回の木育マスターは、  
**しばたともゆき**  
**柴田智幸**さん  
(シバタ住宅)



家を作る仕事をしています。仕事を通じた木との関わりを、大工道具も交えながら、わかりやすくお伝えします。

活動範囲：釧路・根室管内  
活動実績：「双葉保育園」、「木育フェア in TOBU(中標津)」、「樹を知り木で遊ぼう in 阿寒湖」、「中標津私立保育園連合会 H24 研修会」ほか



大工さんでもある、木育マスターの柴田さんは、初の単独での木育教室。初日はさすがにちょっぴり緊張した模様。



人のつながりを  
きっかけに

- 日時 平成24年5月3日～6日
- 主催 東武サウスヒルズ、北海道視察振興局林務課
- 協力 子育てコミュニケーションスペースる・る・る、第2ひかり幼稚園
- 木育マスター 柴田智幸



# 東武 サウスヒルズ

## 東武サウスヒルズ

北海道中標津町南町 3 番地 10



根室管内中標津町郊外の大規模ショッピングモール。スーパーマーケットの東武を核に 25 店舗以上の専門店で構成。TOBU レンジャーギガルスなる正義の味方がいるとの噂。



## 紋別から木育マスターが到着

根室管内の東武サウスヒルズでの木育イベント終了後、その支店で開催が急遽決定、近隣の木育マスターの都合がつかず紋別市からお願いしました。

この日は、木のプールなどの木育ひろばと、経木のハガキづくり。ハガキにはおが粉で絵を描いていきます。オホーツクは木育の盛んな地域ではありますが、より身近な形で参加頂ける、こうしたイベントを開催していけると楽しくなりますね。



おそらく、二度と見られないであろう最強のコラボ「信号トリオ」。「春の交 安全運動」で現れると楽しそうです。

今回の木育マスターは、  
**おおさかさとみ**  
**逢坂里美**さん  
(介護士)



地域で子供達に環境・木工などのものづくりの活動を行っています。流木を使った工作やいたりの笛作りなど木工の小物づくりが得意です。

活動範囲：オホーツク管内

活動実績：「オホーツク流木公園」、「木育フェア in TOBU(北見)」

## 東武イーストモール

北海道北見市端野町三区 572-1



スーパーマーケットの東武を核とする北見市端野のショッピングセンター。

つながりは  
根室からオホーツクへ

- 日時 平成24年5月26日～27日
- 主催 東武イーストモール、北海道オホーツク総合振興局林務課
- 木育マスター 逢坂里美



# 東武 イーストモール

木育のおはなしを  
してみよう



木の加工のしやすさ、自分でも形を変えることができること

木育マスター研修を修了した戸川さんは、環境カオリストでもあります。この日はイオン帯広店でエコドライブ宣言と地球温暖化防止月間関連のイベントがあり、その1つとして開催された「木」でつくるクリスマスオーナメントの講師を務めました。荒目のやすりで木片の角を削り、細目のやすりで仕上げをします。木が滑らかなになったら折り紙でブーツ・サンタ・ツリーを作り、最後はデコレーションして完成です。



作品の完成度は、道具にも左右されます。参加者の年齢などに合わせて用意できると良いですね。

今回の講師は、  
とがわくみこ  
**戸川久美子**さん  
(アロマテラピーインストラクター)



「木育」とアロマテラピーの「香り」を合わせたイベントを企画してみたいです。香りで癒し、森で癒し、アートで癒す人を目指していきたいです。AEAJ 認定アロマテラピーインストラクター、パステルとアートインストラクター。

活動範囲：十勝管内  
活動実績：「イオン帯広店」

**イオン帯広店**  
北海道帯広市西4条南20丁目1



帯広市中心部からやや南にあるショッピングセンター。食料品・衣類のスーパーと約90の専門店が構成。

AEON イオン帯広店

自分の手で滑らかになる体験  
親子で同じものを作る楽しさ

- 日時 平成24年12月16日
- 主催 北海道十勝総合振興局環境生活課
- 協力 イオン北海道株式会社、イオン帯広店
- 木育マスター 戸川久美子(当時認定前)

イオン帯広店

木はどのようにして製品になるのか

イオンモール釧路昭和では「2012 木育・森づくりパネル展」を開催し、木育ひろばのほか、パネル展や木工作が行われました。木育マスターの鈴木さんが担当した「木のイスづくり」では、小学校低学年を対象に、森の木がどのようにして、商品になるかの流れを説明した後、木作業をしました。森から材、製品への流れがそれぞれの段階により、様々な角度から問いかけているところが印象的な取組です。



木工体験で作った木のイス。とてもめらかな風合いで、使い心地がよさそうです。

「木育」は木工作をすること自体ではなく、木を通じてだれかと共に感じることです。



釧路管内の各市町村・団体  
国・道による協働のイベント

- 日時 平成24年11月10日～11日
- 主催 地域づくり広域プロジェクト環境保全型森づくりP.T、くしろ森と緑の会、根室西部森林管理署、釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター、北海道釧路総合振興局森林室、林務課
- 協力 イオンモール釧路昭和、釧路地区森林組合振興会、釧路市公園緑化協会、釧路市丹頂鶴自然公園、(一財)駒田一歩園財団、丸善木材(株)
- 木育マスター 鈴木憲太郎



イオンモール釧路昭和

**イオンモール釧路昭和**  
北海道釧路市昭和中央4丁目18-1



釧路市中心部の北西側、釧路環状線近くにあるイオン釧路昭和店を核とした郊外型ショッピングモール。70を超える専門店街がある。

## 外の寒さも忘れる、釧路の技が熱いイベント

「くしろ冬まつり 2013」と同会場で開催された「第 10 回 2013 メイドインくしろ」は、釧路管内の工業関係の企業や教育機関・団体が出展し、地場産品の普及と地産地消の促進を目的とした展示会です。木材関係では、自由に工作ができるトンカチ広場や、カラマツで作られたカヌー・学習机、ツリーハウスの展示のほか、親子を対象に「木育マイスターから木を学び、釧路の木で“カホン”を作ろう。」が行われました。



カホンづくりは大人の関わりが必須。電動工具も補助することで子どもでも扱えます。

イスの展示。座面も木が伸縮するので座り心地が良いようにできています。すごい！



釧路の技あり大集會  
隔年開催の工業展示会

- 日時 平成25年2月2日～3日
- 主催 釧路地域工業振興協会
- 協賛 釧路市、社団法人北海道機械工業会釧路支部
- 木育マイスター 鈴木憲太郎



# 釧路市観光 国際交流センター

釧路市観光国際交流センター  
北海道釧路市幸町 3 丁目 3



釧路駅から南へ、釧路川を望む地域にある屋内型多目的施設。道立釧路芸術館隣。約 1,800m<sup>2</sup> の大ホールのほか、アトリウム、研修室などを備え、物産展や展示会、講演会、各種学会や国際会議の会場などに利用されている。



## 大人も夢中になれる木工体験

サッポロファクトリーで行われた『めざ SO-YA!!「てっぺん」2013 in Sapporo』は、食や観光など様々な地域資源をPRするイベントです。宗谷の特産品販売や、マスコットキャラクターのステージイベントなどで盛り上がる中、宗谷総合振興局森林室・林務課では木育体験を行いました。木の板に枝を組み合わせる「表札」や、斜めに切った枝に顔を描いて作った「おひな様」など、宗谷の木を使った工作を行い、子どもから大人まで、木の良さに触れてもらうことができました。



木育体験だけでなく、宗谷管内の紹介や、道産木材の普及PRもしっかり。



材料や道具、完成品サンプルを置くと、創作イメージがしやすくなりますね。

## サッポロファクトリー

北海道札幌市中央区北 2 条東 4



明治 9 年に創業された、サッポロビールの前身である開拓使麦酒醸造所だった跡地に造られた大型商業複合施設。ショッピング・アミューズメント・レストラン・ホテルなど約 160 ものショップと施設が集まる。

宗谷の魅力PR!!  
木育体験も頑張っています。

- 日時 平成25年2月9日～10日
- 主催 北海道宗谷総合振興局
- 協力 サッポロビール株式会社、サッポロファクトリー



# サッポロ ファクトリー

# 木育マイスター

～北海道が認定する、木育を普及させる専門家

北海道では平成 22 年度から、木育の理念を十分に理解し、木育活動の企画立案やコーディネートができ、指導的な役割を果たす人材を育成するため研修を行っています。

育成研修は、室内講義及び実習を前期・後期 2 日間ずつ計 4 日間行うとともに、室内講義及び実習で修得した内容を実践するための OJT 研修を実施します。この、育成研修を全課程修了した方を、北海道が「木育マイスター」として認定しています。



## ■ 木育マイスター育成研修実績

年度	研修会場名(研修場所)	認定数
H22	札幌(北海道大学、苫小牧市テクノセンター、和みの森、(株)ヨシダ、家具工房旅する木、旭山記念公園) 北見(津別 21 世紀の森、加賀屋木材(株)、丸玉産業(株)、ランプの宿森つべつ、木のプラザ、置戸どま工房)	38
H23	札幌(旭山記念公園、地球体験館アースギャラリー、穂別道民の森、中村記念館、むかわ町町有林、苫小牧広域森林組合製材工場、ベレット工場、穂別町民センター、登別市ふおれすと鉱山) 旭川(東川町キトウシ森林公園、昭和木材(株)、(株)匠工芸、鈴木木材、下川町五味温泉、フレベ、下川町森林組合カラマツ伐採現場、製炭工場、製材所、ヨックル)	37
H24	道南(七飯町大沼ふるさとの森、(株)ハルキ) 十勝(上士幌町糠平温泉文化ホール、オムニス林産協同組合、幕別町百年記念ホール、インカルシベ白樺、大樹町生涯学習センター)	39

## ■ 木育マイスター育成研修のカリキュラム例(H24 道南)と、各年度の研修の様子

道南第1研修日(10/20-21月)					道南第2研修日(10/22-23月)						
時間	形式	カリキュラム	講師	内容	場所	時間	形式	カリキュラム	講師	内容	場所
9:00						9:00					
10:00	1 座	木育の歴史 1250	徳山	木育が生まれた背景と現在の位置づけ(講義・実習)	七飯町大沼ふるさとの森(旭山事務所)	10:00	2 講	木とは何ぞい、木に学ぶ(小澤)	二本	森林の定義、北海道の森林の特徴(講義・実習)	七飯町大沼ふるさとの森(旭山事務所)
11:00						11:00					
12:30	昼食					12:30	実食				
13:30	5 講	体験学習の理解(50分)	宮本	体験から概念へとつなげていく学習法		13:30	3 講	木とは何ぞい、木に学ぶ(小澤)	水育マイスター一押し	木材の構造と性質	
14:00					14:00	4 講	木とは何ぞい、木に学ぶ(小澤)	木と生きる一歩(小澤)	林業・木材産業の今		
15:00	6 講	木と生きる(小澤)	水育マイスター一押し(戸倉)	子どもの発達と特性と関係、人を育てる(戸倉)	15:00	5 講	木とは何ぞい、木に学ぶ(小澤)	西屋 拓也	(見学・実習)		
17:00	17:00				17:00						



森林の定義、北海道の森林の特徴 (平成 24 年度道南[大沼])



プログラム作りの基礎、模擬演習 (平成 24 年度道南[大沼])



木育が生まれた背景と現在の位置づけ (平成 24 年度十勝[大樹])



体験から概念へとつなげていく学習法 (平成 22 年度北見[北見])



木材の構造と性質、林業・木材産業の今(平成 22 年度札幌[苫小牧])



生活の中の木、木の道具 (平成 23 年度札幌[登別])

## 木育マイスターによる木育の祭典 ～木育フェスタ～

平成22年度から育成研修とその認定が始まった木育マイスターは、自らの仕事や所属する団体における活動の中で、様々な木育に取り組んでいます。自然ガイドや木材会社、保育士、大工、木工職人、先生など、異なる職種・分野の者が木育マイスターというつながりの中（さらに、木育マイスターの本職などにつながるのがある方々）で集まって新たな企画を開始しています。それが「木育フェスタ」です。

平成23年度、七飯町大沼で開催されたことをきっかけに、平成24年度は、東川町キトウシ森林公園と標津町文化ホールでも開催（大沼は第2回）され、全道で3箇所での祭典となりました。

このような活動が継続していくことで、木育活動の面積的な広がりだけではなく、様々な業種への人的広がりと、活動自体の深みにつなぐことができそうです。そして、それぞれ味のある取組が、一層木育というものを魅力的なものにしてくれることでしょう。



道北

### 木育フェスタ in キトウシ森林公園

ちびっこ木育コーナー、木のおもちゃ広場、アロマ体験、たき火でおやつ！  
バウムクーヘンづくり、木育教室～マイハシづくり～、米粉クッキープレゼント・飲み物コーナー、木のくるまづくり、木のどうぶつづくり、森の妖精づくり、  
ドラムサークル体験、森のようちえん・森のアスレチックづくりなどを実施。

日時 平成24年10月28日  
場所 キトウシ森林公園家族旅行村  
(北海道上川郡東川町西5号北44)  
木育マイスター 木村恵巳、兒玉泰治、宇山夕香里  
松村基子、大和正枝、辻礼次郎

### 第2回いちにち木の日 木育フェスタ

木のおもちゃ遊び場コーナー、森の自由遊び場、道南スギで子どものイスづくり、木を選んで作るカスターネットづくり、ちょこっとグリーンウッドワーク体験、タッチウッドづくり、昔の林業の道具体験コーナー、森の幼稚園、子ども木こり隊、木に関わるもの販売、食べ物コーナーなどを実施。

日時 平成24年10月8日  
場所 流山温泉ふるさとの森  
北海道亀田郡七飯町字東大沼294-1  
木育マイスター 西埜将世、鈴木正樹、戸巻朋子、丹羽敬介



道南



道東

### おもちゃのひろば&木育フェスタ

「グッド・トイ」で遊びましょう、投扇興コーナー、走るおもちゃ屋さんキンダーリープ号、木育マイスターと一緒に木とあそぶ・木でつくる(マイ箸づくり、鹿笛づくり、たきびや、スマートボール)、中標津町シルバー人材センターによる手づくりからくりおもちゃなどを実施。

日時 平成24年10月6日  
場所 標津町文化ホール  
北海道標津郡標津町南1条西2丁目1-1  
木育マイスター 萩原寛暢、菊地三奈、門田宜久、鈴木恵太郎

道北の木育マイスターは、  
**きむらめぐみ**  
**木村恵巳**さん  
(大雪山自然学校)



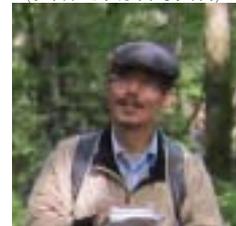
幼稚園での園外活動や小学校の授業、放課後活動など、主に子どもを対象とした自然体験プログラムを通して「木育」活動に取り組んでいます。  
活動範囲: 上川管内  
活動実績: 「道民森づくりネットワークのつどい2011(木育ブース)」、「エコ育広場2012」、「木育フェスタ in キトウシ森林公園」ほか

道南の木育マイスターは、  
**にわけいすけ**  
**丹羽敬介**さん  
(大沼森林公園森の学校)



森や木の気持ちをたくさん伝えるため活動をしています。自然物を使ったタッチウッドづくりから、ガーデンテーブルづくりまでお任せ下さい。  
道自然保護監視員。  
活動範囲: 渡島管内  
活動実績: 「北海道森林スポーツフェスタ2012」、「グリーンウッドワークin穂別」第2回木育フェスタ、「大沼公園 秋の文化祭」ほか

道東の木育マイスターは、  
**かどたのりひさ**  
**門田宜久**さん  
(シャローム・ガイドオフィス)



道東・阿寒の森を拠点に、自然体験ツアーや森林セラピーツアーなど、各種ガイドプログラムを提供しています。木工品作りもしています。  
森林セラピスト、セラピーガイド、ノルディックウォーク上級指導員、前田一歩財団認定「森の案内人」  
活動範囲: 釧路・根室管内  
活動実績: 「おもちゃのひろば&木育フェスタ」  
<http://www.shalomguide.com/>

木育のおはなしを  
してみよう



秋の森で 感じる・さがす・観る・作る・演じる  
～マリオネットワークショップと人形劇～

手稲さと川探検隊は、札幌市手稲区で自然体験活動や調査活動などを行っている団体です。今回は木育をテーマとして「木育ってなに？ 森であつめてマリオネットづくりと人形劇 in 手稲山」を開催。

手稲山の森に入る前に木育について触れたあと、秋に色づく森林を散策しながら、きれいな落ち葉や、くすみ・どんぐりなどさまざまな素材をさがし、集めます。森や木、生きものとのつながりも考えられるよう少しお話ししました。「このクルミはどうして割れているの？」「エゾリスが食べるため」「ねずみがクルミをかじったらね・・・」「大きくなったらどんな木になるんだろうね」

昼食後は「おたのみ劇場ガウチョス」のマリオネット劇場です。演目は「動物のサーカス」本格的なマリオネットを見てみんな創作意欲がぐっと盛り上がりました。そしてそれぞれが拾った素材を使って、世界に1つだけの自分のマリオネットを作ります。作るだけではありません、手作りマリオネットにそれぞれ名まえをつけて命をふきこんだら「小さな発表会」です。くいしんぼうなモンブラン君、背中にイチゴのついたショートケーキ君などユニークな名前のマリオネットたちが生き生きと小さな舞台を動き回っていました。

手稲さと川探検隊

北海道札幌市手稲区 (局長 鈴木 玲)



札幌市手稲区の住宅街を流れる川と、多くの生きもの達を育む手稲山の麓の林で、子どももオトナも生き物に触れ、遊び、感じ、癒され、育まれるよう、そしてこの自然を保全していくこと、自然体験活動と調査活動を行っています。



ガウチョスさんによる、マリオネットの説明です。操り棒(写真右手で持っている部分)はヤチダモの枝です。

手稲区は住宅街ですが、自然の豊かな公園が多く、富丘西公園はスズラン保全区域が市やボランティアの手で管理されています。この辺り、昔は馬の放牧地だったらいいです。



手稲山で集めた材料で自分だけのマリオネットを作ります。頭や胴体はイタヤカエデ、シラカバ、エゾヤマザクラなど、足にはオニグルミの実を半割にしたものを使用しました。

作ったものは、その場で発表する時間があると、その時の印象や充実感のもとより、持ち帰ったときの愛着が変わってきます。とても大切な時間です。



人形劇を楽しんだ後は  
自分で物語を作ってみよう

- 日時 平成24年10月27日
- 主催 札幌市手稲区地域振興課
- 実施・企画 手稲さと川探検隊
- 木育マスター 後藤菜摘子

今回の木育マスターは、  
**ごとうなつこ**  
**後藤菜摘子**さん  
(手稲さと川探検隊)



子どもたちと昔子どもだった大人たちと手稲の自然を楽しむ自然体験活動団体「手稲さと川探検隊」スタッフです。新企画を考えるのが大好きです。

活動範囲: 石狩管内  
活動実績: 「木育イクメン」、「松葉幼稚園」、「森であつめてマリオネットづくりと人形劇 in 手稲山」ほか

手稲区民センター  
手稲山・富丘西公園

## スギチップの砂場は工場見学のハイライト

(株)ハルキでは、毎年数回、近隣の子もたちを対象に木育教室をしています。この日は、七飯ほんちょう保育園・認定こども園どんぐりの園児を招待しました。はじめに、紙芝居の読み聞かせのほか、「丸太の皮むき機」や「製材工場」、「住宅プレカット工場」を見学し、木がどのようにして加工されていくかを学びました。また、園児みんなで「道南スギチップの砂場」で遊び、プレカットされた「道南スギの平均台」を組み立て、最後にその平均台をプレゼントしました。

今回の木育マスターは、  
**すずきしょうじ**  
**鈴木正樹**さん  
(株式会社ハルキ)



**鈴木正樹**  
=木がたくさん！  
工場見学や森林環境教育・イベント活動等々、ご相談ください。

活動範囲：渡島・檜山管内(道内全域)  
活動実績：「大門キッズスタジアム」、「三省堂木育フェスタ」、「第1回、第2回木育フェスタ」、「ネイバル森」ほか  
<http://mori-haruki.co.jp/>



これが噂のスギチップの砂場。子どもの頃の印象って不思議で、「どこでなにが、ではなく「なにがどこで」が強くなるように感じます。



道南産道南杉の大切さ  
「木の大切さ」が伝われば幸いです

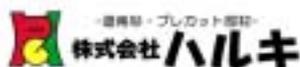
●日時 平成24年11月5日(平成24年6月16日)  
●主催 株式会社ハルキ  
●木育マスター 鈴木正樹

### 株式会社ハルキ

北海道茅部郡森町字姫川11番13号



渡島管内森町で製材業、住宅プレカット加工販売などを手がけ、植林、伐採から製品出荷まで自社一貫生産を行う。環境やエネルギー問題に対し、木育、地材地消、エコアクション21、木質バイオマス、大規模ソーラー、CFP、国内クレジット等、積極的に取り組む。



# 株式会社 ハルキ



## 地場産の誇り、支える技術と伝える情熱。

丸善木材(株)では、子どもたち、高校生、企業を対象とした工場見学のほか、地場産品の普及と地産地消の促進などのイベントに積極的に参加しています。イベントには、自社製作(本業外)のスマートボールやボウリングなどのほか、「3樹種のマグネット」、「拍子木づくり」、「テーブルづくり」、「トンカチ広場」と実に多彩です。木とのふれあいの機会を増やすため様々なアイデアで盛り上げています。



伝えることは、その対象に合わせて。木の身近さや大切さであったり、加工技術であったり…同じものでも見せることだけではなく、「飽きさせない」スキルが問われます。

今回の木育マスターは、  
**すずきけんたろう**  
**鈴木憲太郎**さん  
(丸善木材株式会社)



木の存在を理解してもらい、「木が好き!」になってもらうきっかけ作りをしていきたいと思っています。  
活動範囲：釧路・根室管内(道内全域)  
活動実績：「三省堂木育フェスタ」、「イオンモール釧路昭和」、「樹を知り木で遊ぼう in 阿寒湖」、「第10回2013メイドインくしろ」ほか  
<http://www.maruzenmokuzai.com>

### 丸善木材株式会社

北海道釧路町桂4丁目15番地



釧路管内釧路町で製材業のほか、公園資材、ログハウス、建材の製造・販売・施工などを手がけています。カラマツを使った住宅建築の提案や、オーダーメイド家具の販売も行っています。自社所有の植樹、育樹にも積極的。

「木」を地域の人に伝えるために  
様々な活動を行っています

●日時 平成24年3月、10月ほか  
●主催 丸善木材株式会社  
●木育マスター 鈴木憲太郎

丸善木材株式会社

# 丸善木材 株式会社



### 「学校の記憶」を活かしていくのも木育

平成 24 年度より、木育ファミリーはむかわ町で廃校になった旧和泉小学校の 2 教室を借り受け「木育ファミリー教室」として、地域の個性を活かしたグリーンウッドワーク事業を行っています。そもそもグリーンウッドワークとは「人力の道具でナマ木を加工してモノを作る」こと。

今回の3日間のプログラムは、初日の「森と木の就職・転職セミナー」を除きほぼ作業の連続です。2 日目には穂別産カラマツを使って「足踏みろくろ」と「削り馬」を作ります。作るための道具からがこの活動の肝。ほぼ 1 日を使って、各 6 台を 28 名で完成させました。最終日には、刃物の研ぎ講習の後、野外に出てグリーンウッドワークの素材となる、クルミの若い木など数種類を伐りました。午後からは、昨日作った足踏みろくろと削り馬を使って、メインの「北海道産の小さな木の家」と「木の指輪」づくりに取りかかります。

全体のプログラムには作業だけではなく、穂別産新米を味わう「木育ワンコイン・ランチ」や「樹海温泉はくあ」もしっかり組み込まれています。木そのものだけじゃない、木からつながる人づくりがしっかり根付いてくれることでしょう。

#### 木育ファミリー

北海道札幌市豊平区月寒東 3 条 19 丁目 20-11



木育ファミリーは「木育」をすすめるため 2005 年 4 月に発足した民間の組織です。木や森のもつ可能性に人の想いをかきね、さまざまな分野の方と協力して木育の普及に取り組んでいます。写真は会員証の木のタマゴ。



作業にあたっては、なかなか外に見えてこない事前準備がたくさんあります。実際の作業以上にかかることも多々ありますが、これがないと、イベントの成功もおぼつかなくなります。

集団での作業工程を組む場合には、板書するなどして、情報を行き渡らせましょう。何のために今これをやるのか伝えるためにも大切な「工程」です。



講師のお二人から、岐阜県発祥の「富有柿」のプレゼント。美濃では時期になるとたくさん実るので、柿は近所からの「いただきもの」で充分足りるそうです。

一番左写真で点検している部材を組み立てて完成したのが、足踏みろくろです。まさに人力で作った人力の道具。これで木の指輪などを削ることができます。



「木育」の新たな拠点づくりと  
グリーンウッドワーク

- 日時 平成24年11月24日～26日ほか
- 主催 木育ファミリー
- 協力 岐阜県立森林文化アカデミー、札幌芸術の森 NPO 法人グリーンウッドワーク協会、むかわ町
- 木育マイスター 日月伸、大石拓人、竹津美智子

むかわ町穂別  
旧和泉小学校

今回の講師は、  
くつわまさし  
久津輪雅 さん  
(岐阜県立森林文化アカデミー)



NHK 報道ディレクターとして「クローズアップ現代」などの番組製作に携わった後、飛騨高山で木工を学ぶ。2001 年よりイギリスに渡り家具職人として働く。2006 年帰国後、現職。足踏みろくろ等の人力の道具で生木を削る新しいものづくり、グリーンウッドワークの普及に努める。NPO 法人グリーンウッドワーク協会顧問。



## 子どもが通った元校舎で、もともと子どもだった人たちの木育

家具工房旅する木では、代表の須田修司さんが家具づくりの傍ら、各地で木育を広める活動をしています。この日は、「木育でつなげる北海道木造住宅の会（略称「木木会」。代表 北スタイル(株)）主催の「木のスクール」づくりの講師をしています。

1つの家の建築に関わるたくさんの人が、家づくりに神経を集中する中、ゆったりとした手作業を通じて、心の切り替え、ゆとりの時間となると良いですね。

今回の講師は、  
**すだしゅうじ**  
**須田修司**さん  
(家具工房旅する木)



旭川で職業訓練校に通った後、家具工房で修行。家具メーカーや工務店に勤務後、2005年家具工房旅する木設立。2008年の当別町旧東裏小学校に工房を移転。家具デザイナーと家具職人の二役をはっきり分けるように意識して製作しています。

<http://tabisuruki.com/>



完成です。塗料は、この地区で採れるものを使っています。詳しくは旅する木のHPをご覧ください。



「木木会」  
木のスクールをつくるの巻

●日時 平成24年11月17日  
●主催 木育でつなげる北海道木造住宅の会  
●木育マイスター 福島敬

# 家具工房 旅する木

## 家具工房 旅する木

北海道石狩郡当別町東裏 2796-1 旧東裏小学校



「心に豊かさを、気持ちに安らぎを」。当別町で廃校になった旧東裏小学校を工房に、木の持つ表情や性格を生かしながら、オーダーメイド家具やクラフトなどを制作しています。社名はアラスカの写真家星野道夫さんの本に因む。

家具工房  
旅する木

## 木や森と人のかかわりを通じて、郷土を知る取組

津別町では平成21年度から小学校と中学校で「木育授業」に取り組んでいます。小学校では、津別の木や森と人について理解を深めることにより、郷土への愛着や誇りをもつよう願いをこめて、在学中、3学年×3回、5学年×3回を実施。地域の木材、樹木、町内の木材加工業、木のモノづくりが一連の流れとして実感できるように配慮されています。最終回、経木の「マイ・ノート」に書いた感想には、講師からの返信が。



平成24年度は、「木育の玉手箱」から「樹齢1200年のミズナラに会いに行く」、「自分だけの木のタマゴ」、「木と樹」、「津別の経木工場」、「マイ・ノート(写真)」まで。

今回の講師は、  
けむりやまやすこ  
**煙山泰子**さん  
(KEM工房)



1979年にKEM工房を開業。木工デザイナーとして「子ども達とかがつて子どもだった人への贈りもの」をテーマに、木と子供にこだわって活動しています。身近なものの中に見つけた新鮮な驚きと感動を、KEMの造形に素直に生かしていきたいと思っています。  
<http://www.h3.dion.ne.jp/~kem/>

## 津別町

北海道網走郡津別町字幸町 41



網走郡津別町は町の総面積の約9割が森林。明治35年頃より開拓がはじまり、豊かな森林資源を利用して木材加工・木製品の製造など林業に関連する産業が発展してきました。日本有数の合板加工会社があります。

5年目を迎えた  
「津別の木育授業」

●日時 平成24年  
●主催 津別町教育委員会  
道立津別21世紀の森森林学習館  
●協力 加賀谷木材株式会社



# 津別町立 津別、活汲、本岐小

木育のおはなしを  
してみよう



ツリーの飾り付け、+ の木育

この日は、ツリーの点灯式。  
浦河フレンドようちえんと、認定こども園夢の国幼稚園・保育園の園児が、日高振興局の庁舎を訪れました。紙芝居「どんぐりさんとりすさん」で木の大切さをしっかりお勉強したあと、日高管内で伐採された4mのトドマツのツリーに飾り付けをします。最後は大きな声でカウントダウンとともに、ツリーに明かりを灯します。



紙芝居「どんぐりさんとりすさん」。  
木の大切さを知ってもらうためには、こんな時間を取ることが大切ですね。

木育のパネルだけではなく、管内の木育活動もしっかりPRしています。



**日高振興局**  
北海道浦河郡浦河町栄丘東通 56

北海道庁の出先機関。1897年浦河支庁の設置が始まり、日高の面積は、4,811.97km<sup>2</sup>で、和歌山県や福岡県にほぼ匹敵。面積の8割以上が山林で占められており、豊富な森林資源に恵まれている。

ツリーの飾り付けを通じて  
木の大切さを知ってもらう取組



●日時 平成24年12月11日  
●主催 北海道日高振興局林務課

日高振興局

今年で5回目になりました。

根室振興局による、トドマツ間伐材を利用したクリスマスツリーの配付は、平成24年度で5回目になりました。今年も根室管内25施設(写真は中標津第2ひかり幼稚園)に管内在住のサンタ氏とトナカイ氏がおじゃましました。普段、生活している環境に「本物の木」を使ったクリスマスツリーを置くことで、より身近に木を感じてもらえそうです。



全然あやしくありません、れっきとした、サンタさんと赤鼻のトナカイさんです。トナカイさんは、ジャンパーを着ていますがちゃんと毛が生えています。

ツリーの飾り付けができました。背の高さより2倍近くあると、やりがいがありますね。



「本物の木」を使ったクリスマスツリーを  
身近に感じてもらうために

●日時 平成24年12月5日  
●主催 北海道根室振興局林務課  
●協力 中標津町第2ひかり幼稚園

**根室振興局**  
北海道根室市常盤町3丁目28番地



北海道庁の出先機関。1886年設置の根室支庁が前身。根室の面積は8,534.22km<sup>2</sup>。厳しい気象環境も影響し木材資源としては決して豊かではないが、北海道遺産の格子状防風林など生活に密着した森林を有している。

根室振興局

## 森のエネルギーを探してみよう

森林に囲まれ、共生してきた弟子屈町では11月6～10日に木育週間を開催。6～9日は林業多目的センターに木のおもちゃを用意して一般開放、また、木育マスターの萩原さんによる木育プログラム「仁伏の森の散策」も行われ、子どもたちが自然とのふれあいを楽しみました。10日には、地材地消をテーマに地域材を使った木工教室花台作りと、萩原さんと一緒に仁伏の森を散策しながら小枝などを集め、火おこしにも挑戦。暮らしと木との関わりなどを学びました。

今回の木育マスターは、  
**はぎわらひろのぶ**  
**萩原寛暢**さん  
(自然ガイド)



森が豊かな弟子屈町の自然を様々な方にご案内するとともに、地域の子どものために自然をテーマにしたふるさと学習のお手伝いをしています。  
活動範囲：釧路・根室管内  
活動実績：「双葉保育園」、「森のようちえん in 仁伏」、「奥春別親子木育ひろば」、「おもちゃのひろば&木育フェスタ」ほか



散策前には、本などを使いながら、しっかりと木や葉のお勉強です。



弟子屈の森や木に触れて  
「2012弟子屈町木育週間in仁伏」

- 日時 平成24年11月6日～10日
- 主催 弟子屈町、北海道釧路総合振興局林務課
- 木育マスター 萩原寛暢

**弟子屈町林業多目的センター**  
北海道川上郡弟子屈町字サワUNCHサップ 3-5



弟子屈町仁伏の温泉施設旧クアハウス屈斜路を、平成24年8月5日改装してオープン。地域の交流や活動の拠点・木育体験施設・林業従事者の講習や研修の施設・林業歴史展示施設という、多目的なコミュニティ施設。かつての浴槽には馬そりが展示されている。

# 弟子屈町 林業多目的センター

## 森と人のかかわりを探ります。

森林の大切さや素晴らしさ、楽しさを伝えるために阿寒湖周辺の森づくりに取り組んでいる前田一步園財団が開催した「樹(森)を知り木で遊ぼう in 阿寒湖」において、木材会社と大工の木育マスターが、この森をフィールドにした木育教室のお手伝いをしました。

木が一体どうやって私たちの身近なところまで来ているか、木材をどのように使うかを森と木、そして人との関わりを屋内外にて親子で楽しみながら体感しました。



最後は森の工房で作品づくり(カスタネット、オブジェなど)と、盛りだくさんの内容です。阿寒湖の樹木やクルミ、ハンの実のほか、ヘビの抜け殻も用意!

今回の木育マスターは、  
**やまもとこういち**  
**山本光一**さん  
(前田一步園財団)



公私で活動している阿寒湖周辺の豊かな森林の素晴らしさや大切さを木育活動やライフワークである写真撮影を通じて伝えていきたいと思っています。  
環境省自然保護指導員

活動範囲：釧路・根室管内  
活動実績：「木育フェア-inTOBU(中標津)第2回」、「樹(森)を知り木で遊ぼう in 阿寒湖」

**一般財団法人前田一步園財団**  
北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉 1丁目5-2



明治期の官僚・実業家前田正名の財産であった「前田一步園」を、3代目園主の前田光子などの寄付により、1983年4月1日に「前田一步園財団」として創立。阿寒湖周辺の広大な森林を、300年前の姿を目指し、守り、育てるほか、北海道の自然保護に関する様々な事業に取り組む。

阿寒の深い森で  
人と木のかかわりを探る

- 日時 平成24年8月17日
- 主催 NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構  
一般財団法人 前田一步園財団
- 木育マスター 山本光一、鈴木豪太郎、柴田智幸

# 一般財団法人 前田一步園財団



### 木育マイスターによる木育 TENT 村

毎年、北海道庁旧本庁舎で開催されている「道民森づくりネットワークのつどい」の森の TENT 村木育ブースは、平成 24 年度より木育マイスター主体の運営に替わりました(道は木育ひろばとカホンづくりを運営)。この日は朝からあいにくの雨模様でしたが、マイ箸づくりのほか、新企画の飛び出す絵本づくりを実施するなど、木育マイスターの認定の期を超えた、多様なつながりを感じられる取組になりました。



旧本庁舎 2 階会議室の木育ひろばに併設された経木しおりづくり。作品レベル高すぎです。

今回の木育マイスターは、  
いまなかつお  
**今中建男**さん  
(こども・コムステーション・いしかり)



地域で子供達に環境・木工などのものづくりの活動を行っています。流木を使った工作やいたどりの笛作りなど木工の小物づくりが得意です。

活動範囲: 札幌近郊

活動実績: 「エコ育広場 2012」、「森づくりフェスタ 2012」

### 北海道庁旧本庁舎 (赤れんが庁舎) 北海道札幌市中央区北 3 条西 6 丁目



明治 21 年建築の、ドームを載せたアメリカネオバロック様式のれんが造りの庁舎。北海道立文書館や歴史ギャラリーの他、観光情報コーナーも併設。会議室は現在も通常使用している。国の重要文化財。

野外 TENT でも  
木育をやってみよう

- 日時 平成24年10月20日
- 主催 北海道 北海道森林管理局  
公益社団法人北海道森と緑の会
- 木育マイスター 櫻井善文、信大雄、野野、高野克也  
今中建男、中村裕(木育ブース運営)



## 北海道庁旧本庁舎

### 作るものも、それを作った森を意識して

「北海道森林スポーツフェスタ 2012in 定山溪」は、森林マラソンや森林浴ウォーク & ノルディックウォーキングとともに、環境保全プログラムとして、森づくりや地産地消体験ができるイベントです。森づくり体験 TENT では、2 期生の木育マイスターが、他ボランティア団体とともに、木の苗を植えるためのカミネッコンづくり、木で作るバードコールづくりを実施しました。その後、スキー場跡地へと移動し、作成したカミネッコンによる植樹活動をしたり、バードコールで鳥を呼んだり楽しみました。

カミネッコンの「植える・育てる」に加えて、バードコールの「使う」という木の循環サイクルを意識した取組になりました。

今回の木育マイスターは、  
おがさわらまこと  
**小笠原 誠**さん  
(株式会社セ・プラン)



植物に関わる仕事をしています。趣味で登山もしています。野外でアクティブに活動したい方はご相談ください。夜ごはん食べながら寝てしまうほど疲れるまで遊びましょう。アクティブ木育!

活動範囲: 石狩管内  
活動実績: 「北海道森林スポーツフェスタ 2012in 定山溪」



カミネッコンは植えるというが、「置く」です。ダンボールでできた鉢なので、保水性があり、水やりの必要がなく、自然に風化するの、ほんとに「置く」だけです。地面を掘って植えるという手間もなく、くどいですが「置く」だけです。ただ一つ忘れてはいけないのは、「愛情と共に置く」ということです。



スポーツを通じて  
木育活動もありますよ

- 日時 平成24年7月8日
- 主催 北海道森林スポーツフェスタ実行委員会
- 木育マイスター 小笠原誠、清澤光枝、高橋裕、丹羽敬介、竹津美智子(「水源の森づくり」体験運営)



## 定山溪国有林

### 奥定山溪国有林水源の森 北海道札幌市南区定山溪



札幌市の南西部豊平川豊平峡ダム上流に位置し、同じ豊平川定山溪ダム上流に位置する西定山溪国有林と併せて、札幌市 193 万人の上水道の 85% を供給しており、全域が「支笏洞爺国立公園」に含まれた水源かん養保安林で「緑のダム」として重要な役割を担っている。(林野庁 HP より引用)

道庁担当者による

# MOKUIKU の小話

人のつながりを感じられて、大人でも楽しめる。  
運ぶのも簡単で、お値段も…

## きぼうのプールづくり



「遊具は頻繁に移動させるものではなく、ある程度長期間で設置するもの」

きぼうのプールづくりは、平成 24 年 10 月に開催が決まっていた「森づくりフェスタ 2012(道民森づくりネットワークのつどい)」に向けたイベント企画としてスタートしました。

平成 23 年度の同イベントで、ようてい森林組合によるカラマツログハウスの組み立て作業を見たときに、「これを使って、移動しやすい木のプールができないかな」と思っていた当職 (& 上司) に「何か面白いイベント考えて!」との囁きが年度末に…。予算面や、「札幌でやればよい」、「移動が面倒」、「借りるところはない」のほか冒頭のような厳しい御意見を頂く中、「参加へのモチベーションには遊びの要素が必要」、「焼きペンなら」、「樹種を地域ごとで変えては」、「ゼロから作るのではなく追加した方が」、「幼稚園は探す、消毒も立ち会う」といった力強い言葉も頂き、決行することになりました。

初イベントは、平成 24 年 7 月末の「環境広場さっぽろ 2012」。木枠のやすりがけは、課員の「突貫」協力のもと何とか間に合わせましたが、焦って気の回らない当職を尻目に、同僚が「子どもが描きやすいように」と手作りの治具をいつのまにか作ってくれていました。感謝。

マジック等で絵を描くのとは比べて、焼きペンは単色で地味なので、幼児の人気は今ひとつですが(もちろん、入って遊ぶ方は大盛況ですが)、小・中学生や、特に大人の方がとても集中して書いてくださっているところを見てみると、「きぼう」の意味(木を通じて、人のつながりを感じる)が少しでも伝わってくれているかなと感じます。

おかげさまで、製作後 8 ヶ月で「きぼうのプールづくり」は北海道内 13 箇所で開催を頂いたほか、「きぼうのプール」本体は、北海道内 21 箇所を巡回させて頂くことができました。

「家族の名前を書きました」、「背が伸びたい」、「母の金婚式なのでその記念に」、「長生きできてありがとう」、「BAGUS(インドネシア語)」。皆様の「きぼう」を少しずつ積み上げながら、多くの場所で「目に触れて、手に触れて」くださると、製作に関わった 1 人として、とても幸せです。



平成 24 年度は、約 500 本の「きぼう」を皆様に書いていただきました。

「きぼう」は、KEM 工房(煙山泰子 デザイン)の「KI・BO(きぼう)」を活用し、留辺薬木工(株)により製作されました。また「きぼうのプール」の木枠は、ようてい森林組合のログハウス部材の一部を使って製作されました

## きぼうのプール

北海道産の「カラマツ」や「トドマツ」を使った木の棒(きぼう)を集めた木のプール。「きぼう」の直径は 2cm、長さは 7.5~10cm ほど。この「きぼう」にバーニングペンなどでメッセージを残していただいています。この「きぼう」が入った「きぼうのプール」が全道の木育イベントなどを巡回しています。

貸し出しについては、P34 をご覧下さい。

# The price of "MOKUIKU" classrooms 1

木育教室をしてみたいけれど、どれくらいかかるのかな？

**ふ**れあう

## 木育ひろば

道産材を使った木のおもちゃがたくさん。子どもも大人も大満足。

木のプールをはじめ、大型の木のおもちゃをレンタルしているところが、道内には数カ所あります。イベントの中心に置くと存在感大です。

対象

乳児～小学校低学年。保護者。

価格

遊具レンタル:5万円程度

送料:10万円前後

補助員:5万円程度(3~4人)



**学**ぶ

## 紙芝居・木育の玉手箱

アクティビティの導入に、ひと工夫いかがでしょうか？

紙芝居や絵本、木育の玉手箱を使って、森や木への関心呼び込みます。木育の玉手箱はアクティビティとしても楽しめます。

対象

幼児(絵本や紙芝居)

小学生以上(木育の玉手箱)

価格

備品費:木育の玉手箱は6,090円( )

紙芝居や絵本は他のアクティビティと組み合わせを前提とします。



**体**験する

## しおりづくり

木の葉だけじゃなく、花も用意。くわしいお話もできますよ

近隣の森林で集めた、木の葉や花をあらかじめ乾燥させてストックしたものを、紙とラミネーターを使ってオリジナルのしおりを作ります。

対象

小学生以上

価格

材料費:1万円程度(50個) 要準備

講師料:1万円程度(1人)



## 木のマグネットづくり

木の小片をつかって、マグネットづくり。木の堅さもわかりますよ。

道産のトドマツ、カラマツ、ナラなどの小片を紙やすりで磨いて、絵を描き、マグネットを貼って完成。無地で油を塗っても良い仕上がりになります。

対象

幼児以上

価格

材料費:1万円程度(40個)

講師料:1万円程度(1人)



## マイ箸づくり

道産材のサクラやキハダを使った箸づくり。名前も入れられます。

特製の治具に、素材をセットし鉋で削ります。紙やすりで整えた後は、油を塗布して完成。パーニングペンも使えば、ネームだって入れられます。

対象

小学生以上

価格

材料費:5千円程度(50膳)

備品費:1万円程度( )

講師料:2万円程度(2人)



## カホンづくり

道産材を使ってペルーの打楽器カホンづくり。演奏も楽しい。

道産の合板(シナ、カラマツなど)を使ってカホンをつくります。準備がとて大変ですが、大人も満足の仕上がりになります。塗装もすると完璧です。

対象

小学校高学年以上

家族など複数人をお勧めします。

価格

材料費:2~3万円(6個) 要準備

講師料:2万円程度(2人)



( )は、木育マイスターによる木育活動を実施していただくことを条件に北海道庁でも貸し出しをしています(P34)。

## The price of "MOKUIKU" classrooms 2

木育教室をしてみたいけれど、どれくらいかかるのかな？

### 体験する

#### 植樹・育樹体験

道内各地で植樹・育樹のイベントが開催されています。

国や地方公共団体のほか、最近では企業による植樹・育樹イベントが盛んに行われています。植えた木を、どう育てて行くかのビジョンも大切です。

対象  
幼児以上。  
価格

主催するには、苗木代等の資材費やバス借上料などで数十万円がかかります。参加の場合には、交通費・保険料を除き無料の場合が多いです。



#### 森林の散策

普段見なれている森でも、新たな発見があります。

森林を使った遊びや観察、散策の時間を提供します。対象年齢に合わせて、様々なアクティビティが用意できます。冬山もありますよ。

対象  
幼児以上  
価格

講師料:2~3万円(1人)  
資材のレンタルの他、活動によっては傷害保険の加入が必要です。



#### 木育マイスターによる木育教室 ~アクティビティとプログラムの関係

木育マイスターは、この事例集にあるような木育活動を企画立案し、自ら実施することもあります。活動のコンセプトや対象年齢などに応じて、その分野に精通する方を呼び込んで、木育のプログラムを構成し、トータルとして木育活動を提供することもあります。

そもそも、木育活動は P33~34 にあるような、木工や植樹・育樹活動などの1つ1つのアクティビティを組み合わせ、全体として木育の理念を伝えるためのプログラムにより成り立っています。

例えば、P30の「樹(森)を知り木で遊ぶ in 阿寒湖」では、「森に入り自然を感じるとともに、木の利用についても考えることで、参加者に森林の循環について意識してもらおう」という「ねらい(コンセプト)」を達成するため、森林というフィールドを管理する木育マイスターが、それを加工する木材会社と、木を使って家をつくる大工の木育マイスターに呼びかけて、自然体験と学習、木材の生産や、家に使うことの学習、木工体験といったアクティビティを組み合わせ、木育のプログラムを構成しています。

## 北海道庁からのお知らせ

北海道庁では、「木育マイスターによる木育活動」を実施して頂くことを条件に、「きぼうのプール」や小型の木製遊具など、木育活動を実施する際の資材を無料で貸し出ししています。

但し、取りにお越しになる場合を除き、往復の送料はご負担願います。

詳しくは、裏表紙記載の担当課までご照会ください。



道南杉の積み木「Mock」



上)マイ箸づくりの道具、  
下)小型木製遊具



きぼうのプール。製作過程はP32に！。体験イベントも随時承ります。



---

## 木育のおはなしをしてみよう

～ 木育事例集 3 ～

発行日：平成 25 年 3 月

発 行：北海道

編 集：北海道水産林務部林務局林業木材課林業木材グループ

〒060-8588 札幌市中央区北 3 条西 6 丁目

電 話：(代) 011-231-4111 内線 28-564

ファクシミリ：011-232-1294

メールアドレス：suirin.rinmoku11f@pref.hokkaido.lg.jp